

静岡産業技術専門学校

令和3年度

学校自己評価・学校関係者評価 評価報告書

1. 教育理念・教育目標

教育理念

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

教育目標

学校教育法に基づき、工業分野における専門教育による人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成と、商業分野における実務教育による知性高く教養深い有能な職業人や社会人の育成を通して、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

2. 令和3年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

経営重点施策（骨子）

- ・令和4年度入学生募集実員数275名を確保する
- ・学んだことに関連する職種への就職率（専門職内定率）を向上させる
- ・働き方改革による学校の質向上の達成
- ・教育の質向上と学生満足度を高め、学校評価を高める。退学率は4%以下とする

活動・運営に関する目標や計画の項目

<教務>

- ・新型コロナウイルス感染拡大の中で、リスク管理を行う
- ・学生に対して安全な環境と安心できる教育を行う
- ・就職支援体制を強化しきめ細かく就活サポートを行う
- ・ディプロマポリシーを見直し、それに応じてカリキュラムの見直し改編の準備を行う

<就職支援>

- ・内定率100%維持継続のため、専門・関連分野の求人に繋がる 企業とのつながりの強化
- ・ゼミを中心とした教員と就職担当の連強化による、学生指導の強化
- ・就職活動支援イベントの効果的な運用を行う

<広報活動>

- ・令和4年度入学生数を全学科で定員充足し、275名を確保する
- ・女子学生の入学者数70名以上（女子割合30%）を確保する
- ・1, 2年生向けの募集活動を充実させる

<総務>

- ・来客と学生に対しての窓口や電話対応において、高感度アップにつながる接客対応をする
- ・快適で清潔な教育空間の維持と美化向上を行う

- ・効率的かつ効果的に事務処理を遂行する
- ・各部署（教職員）との連携を強化する

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価方法： 4（適切）→ 3（ほぼ適切）→ 2（やや不適切）→ 1（不適切）

（1）教育理念・目標

評価

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか	4
1-2	学校における職業教育の特色は何か	4
1-3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
1-4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
1-5	各学科の教育目標、育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<u>成果と課題</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・学生に教育理念・目標を周知徹底するため、当該情報を掲載した学生便覧を配布している。入学時のガイダンスでは必ず説明をしている。 ・職業教育の特色は学校案内パンフレットに掲載されている。 ・学校の将来構想については、法人内専門学校6校の中期計画として計画され、実行されている。 ・学校及び学科ごとの育成人材像については、オープンキャンパス、学校見学会等で説明を実施している。また学生に対しては入学直後のガイダンスで行っている。 ・保護者に対しては後援会総会・授業見学会を通して行う予定だったが、コロナ禍の中どちらも実施出来なかった。 ・各学科の教育目標、育成人材像の業界ニーズを把握するため、教育課程編成委員会を年2回開催し外部意見の反映に努めている。 		
<u>今後の改善方策</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も継続して紙媒体、ホームページ掲載などを通して、学校からの情報発信を継続実施する。また、常に最新情報となるよう内部体制強化を図る。 ・後援会役員会・総会 学校見学会など、コロナ禍でも開催方法を模索し実施に向けて努力する。 		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における総会や見学会の中止は、やむを得ない面もあると思う。 （保護者等への周知について） ・コロナ禍における総会・見学会の開催方法は、書面表決だけでなく オンラインで開催するなど検討の余地がある。 ・授業見学会を数日に分け、少人数ごとの受け入れなど工夫が出来るのではないかな。 		
学校関係者評価 平均		4.0

(2) 教育活動

2-1	シラバスが作成され学生に配布されているか	4
2-2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
2-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
2-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4
2-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
2-6	授業評価の実施・評価体制はあるか	3
2-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
2-8	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
2-9	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
2-10	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
学校自己評価 平均		3.9
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度初めにおいてすべての科目のシラバスを作成し公開している。 ・入学時と前期後期の2回に分けて、学生授業アンケート調査を行った。しかし、授業の点検評価という観点では、アンケート調査結果からの評価分析体制が整備されておらず、フィードバックなど活用が不十分である。 ・デザイン系学科を中心に、実習のテーマとして外部の企業・団体様より作品制作のテーマを頂き、企画から制作、プレゼンテーション、納品までを実習し、またCADデザイン科においては卒業研究における研究テーマを企業様から頂き研究・発表を行うなど、より実践的な授業を展開した。 ・すべての学科で該当する関連分野の企業・団体様との連携を深め、教育課程編成委員会を開催し外部委員からの意見やアイデア、最新の業界動向等を教育カリキュラムの改善に活かす取り組みを実施している。 ・本年度もキャリア教育への取り組みとして、入学時からキャリアカウンセラーや、ビジネスマナー講師など外部講師を定期的に招き、年間を通してキャリア教育への取り組みを実施した。 ・全ての教員が「関連分野における先端的な知識・技能等を修得」「教員の指導力育成」などの資質向上を目的とした研修に参加した。 		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開情報としての科目シラバスに基づいて、成績評価や授業評価の精度を向上させる。 ・FD WGにて、授業評価について収集された情報を、フィードバック・反映する体制と仕組みを定型化する。2022年度中にその仕組みを提示する。 ・2024年度施行のカリキュラム編成に向けて、2022年度中にディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・カリキュラムの確定を行う。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現高校1年生（新教育課程）に対応した評価体制・基準の見直しは今後の課題。 ・シラバスという言葉自体が、学生に周知されていないのではないかと。授業計画など言いかえが必要。 ・アンケート調査から結果の評価を数値で把握し、これを継続的に実施することで施策の効果判定と効果は期までの期間が可視化できると考える。 		

<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価について、難しさがある。 ・キャリア教育は良いと思う。 ・コロナと共存するために、どのようなコミュニケーションが取りやすいか対人のコミュニケーションが弱くなるので注意したい。 ・各学科の取り組みは、わかりやすかった。 ・CG 技術科の素晴らしい成果が印象に残った。 	学校関係者評価 平均	3.8
---	-------------------	------------

(3) 教育成果

3-1	就職率の向上が図られているか	4
3-2	資格取得率の向上が図られているか	4
3-3	退学率の低減が図られているか	4
3-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
学校自己評価 平均		3.7
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職内定率以上に、関連職内定率（履修した分野に関わる企業等への内定割合）を向上させることに重点を置いた学科の運営や就職指導を行い、学校全体として94.1%の関連職内定率を達成することができた。 ・資格取得に関しては、例年の実績相当の資格取得実績をあげることができた。 ・退学率は3.47%（目標4%以内、昨年度実績4.4%）となり、目標を達成することができた。 		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の社会的な活躍、就職後の定着状況を調査するなど把握のための施策を講じる。 ・卒業生の活躍を紹介する OBOG セミナーを各科継続的に実施する。 ・資格取得の必要性などを学生に周知する 特別講座を各科実施する。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の会社説明会などの対応も多様となり苦慮していると思う。 ・学生への対応は素晴らしい。卒業後のフォローがあると良い。 ・3-1 は、前年との結果比較が無い。 ・退学率が低くて良い。 ・退学率が目標を下回り、成果が出ていると認識。次年度以降にも期待している。 ・学業不振の学生も、何だかの支援をして卒業に導く方法が必要。 ・ストレスによる退学する学生への支援は大変だと思う。 		
学校関係者評価 平均		3.7

(4) 学生支援

4-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
4-2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
4-3	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
4-5	保護者と適切に連携しているか	4
4-6	卒業生への支援体制はあるか	4
4-7	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
4-8	新たな求人開拓の努力はしているか	4
4-9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		3.9
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職支援体制は、学生1人に対して就職担当、担任、就職ゼミ担当の3者体制により実施されている。このことにより就職活動に必要な基本的就職活動リテラシーの指導・サポート体制と、専門職内定率を向上させるための学科・クラス担当からの学生への情報提供・サポート体制を明確化し、内定率、専門職内定率ともに高いレベルでの維持に成功している。 ・学生相談窓口として、クラス担任による対応、専門カウンセラーによる相談を毎週1回開設している。 ・学生・保護者の経済的負担を軽減する措置として、高等教育の修学支援新制度に則り対象校の手続きを行っている。 ・総務部門に学生支援機構の奨学金制度や官民の教育ローン制度、学校法人静岡理工科大学グループで企画した学費サポートプラン等の学生・保護者に対するサポート職員を配置し、随時相談受付を行っている。 ・保護者会組織である後援会が組織されており、学校に事務局を設置している。また学生の状況については、必要に応じて保護者との情報共有に努めている。 ・卒業生を会員とした同窓会が組織され、学校に事務局を設置している。中途退職者については、就職相談室にて相談及び中途採用情報などを提供している。 ・就職担当を専任で配置し、求人開拓を含む就職支援統括を学校として行っている。 ・課外授業としての学校行事・イベントは、新型コロナウイルス感染状況により中止するものが多かったが、スポーツフェスティバルは安全に開催できた。 ・新型コロナ感染対策として、鈴与グループの職域接種の積極的利用・抗原検査キッドを常備し、クラスターが発生しないよう注意している。 		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の健康管理について、保健室は設置しているが常任の学校医がいないため、専門的知見によるアドバイス等は行われていない。 ・カウンセリングは、週に1回程度 スクールカウンセラーを配置し緊急時には臨時のカウンセリングが実施できるよう、体制を整える。 ・コロナ対策として、抗原検査キッドの在庫を常備し、校内での感染拡大に注意する。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4-5については、1-4にて行われる予定だった後援会総会・授業見学会などもWEB・対面で開催等情報共有をしていくことは、今後可能だと感じた。 ・学生支援ということで、県内就職について教員・保護者・学生共に考え、是非県内企業を盛り上げてほしい。地元 		

貢献にもつながる。 ・就職率100%は素晴らしい。 ・企業から学生をスカウトできるような体制も必要だと思う。 ・大学などで行われているインターンシップ制度などの取り組みの紹介が欲しい。 ・学生の健康管理について昨年からの改善策が難しく、自己評価が上がるよう改善を望む。	学校関係者評価 平均	3.9
--	-------------------	------------

(5) 教育環境

5-1	講義室、実習室の管理は適切に行われているか	4
5-2	実習室及び講義室は学生の自習室として開放しているか。	4
5-3	教育用機器備品は整備されており活用されているか	4
5-4	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている	4
5-5	防災に対する体制は整備されているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<u>成果と課題</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・講義室及び実習室は、実習に必要な室数、面積、パソコン台数や実習機器が確保され、ソフトウェアについても定期的にバージョンアップが行われている。 ・講義室の机を2人掛けから一人掛けに変更するなど、コロナ禍での環境整備に努めている。 ・各教室での手指消毒・清掃用消毒・二酸化炭素濃度計など全教室に整備している。 ・図書については各科で必要図書を購入して教室や実習室に配備し、学生が適宜閲覧できるよう整備している。 ・各実習室の配置を新型コロナウイルス感染防止に伴って机レイアウトの改修を行った。 ・各講義室及び実習室における地震、火災等における避難経路は設定されており、年1回の防災訓練において避難経路確認を行い学生に周知している。 		
<u>今後の改善方策</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナウイルス感染防止対策のために必要な設備、備品の整備を進める。 ・対面授業とオンライン授業の併用を前提として、オンラインによる授業配信のための設備拡充を進める。 		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止対策など大変な対応だと感じた。 ・企業でもコロナ対策を契機に、感染防止と働き方改革を志向したリノベーションを行っている。 ・どう学べば効果的かを環境面から模索する学び方改革も行えると感じた。 ・教育活動・環境共にオンライン対応の準備が大変と感じた。 ・防災については、地域連携も必要となる。 ・防災訓練はメタバースで行うと良いのでは？ 		
学校関係者評価 平均		4.0

(6) 学生の募集と受け入れ

6-1	入学案内には志願者が必要とする情報が掲載されているか	4
6-2	募集要項の内容は適切か	4
6-3	学生募集活動は、適正に行われているか	4
6-4	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
6-5	学納金は妥当なものとなっているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<p><u>成果と課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門学校他校と比して、入学案内・募集要項等の内容に不足等は無く適切である。 ・学生募集活動に当たっては、虚偽・過剰なことの無いよう事実に基づいた情報提供と対応を実施している。教育成果についても、日々正確な情報の蓄積に努め、誤った情報が伝達されないよう厳正に対応している。 ・コロナ禍において、オープンキャンパスの運営方法を改良し感染拡大防止策を講じながら対応している。 ・令和3年度の募集活動の結果、令和4年度の入学者は、入学定員215名に対し335名となった。8学科9コース全て学科定員を達成し、女子の入学生も98名となった。 		
<p><u>今後の改善方策</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体の定員充足と、全学科の定員充足を目指し、募集活動上の対策を講じる。 ・教育の質を担保するため、入学者選抜における適切な評価判定を行う。 		
<p><u>学校関係者 評価コメント</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学んだ先にある就業・就職について、何を学んだ人が実施にどんな仕事をし、学んだことがどこで役に立ったかを卒業後のルートとして可視化することで学びの具体性が増すと感じる。 ・早々に定員に達するなど、広報活動の充実を感じる。 ・定員より大幅に多い入学者だったということで、広報活動・学校の取り組みがしっかり伝わっていると理解した。 		
学校関係者評価 平均		4.0

(7) 教職員組織、学校運営・管理、財務、法令等の遵守

7-1	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか	4
7-2	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか	4
7-3	非常時の危機対策管理に対する周知は徹底されているか	4
7-4	消防計画、学校安全計画は適切に整備し、防災訓練等は実施されているか	4
7-5	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
7-6	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
7-7	運営組織や意志決定機能は、規則等で明確化されているか、有効に機能しているか	4
7-8	人事、給与に関する制度は整備されているか	4
7-9	教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	4
7-10	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
7-11	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
7-12	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4

7-13	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
7-14	財務について会計監査が適正に行われているか	4
7-15	財務情報公開の体制整備はできているか	4
7-16	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
7-17	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
7-18	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
7-19	自己評価結果を公開しているか	4
7-20	ハラスメントに対する防止対応策が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<u>成果と課題</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・学校法人全体を統括する理事会・評議員会は年3回、5月、9月と2月に定期的実施され、議事録は適切に作成管理されている。 ・就業規則などの諸規程は整備されている。一部抜粋は規程集として全職員に配布され、また全ての規程集については電子化されており、教職員がパソコンの画面で自由に閲覧できるよう整備されている。 ・組織間の連携は、校長ミーティング及び3つの分科会（進路、教育、募集）やワーキンググループ、中期計画策定委員会を中心に十分な連絡会議が持たれている。 ・例年実施されている防災訓練の実施方法をより非常時に近い環境で実施できるように、常勤職員だけでなく、非常勤講師も含めたより実践的な避難シミュレーションを行った上で実施した（9月）。 ・セクシャルハラスメントのみではなく広くハラスメント全般に対応するようハラスメント委員会を設け、委員名や連絡方法、またハラスメントへの対応等を明記した文書を校舎内廊下に掲示している。 ・情報セキュリティ委員を選任し、情報の持ち出しに対しては管理記録簿により管理している。 ・学園の財務情報はホームページ上に公開され常時閲覧可能である。財務分析比率は適切な数値となっている。 		
<u>学校関係者 評価コメント</u>		
<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと運営されていると感じます。 		
学校関係者評価 平均		4.0

(8) 社会貢献・地域貢献、国際交流

8-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
8-2	留学生の受入れ・派遣等において適切な手続き等がとられているか	4
8-3	留学生の受入れに対して、学内での適切な体制が整備されているか	4
学校自己評価 平均		4.0
<u>成果と課題</u> <ul style="list-style-type: none">・学校施設を活用した、高校生の職業体験授業や技術体験授業、などを随時受託している。・外部団体への施設貸し出しについては、コロナ禍の為控えている。・地域貢献として、IT パスポート試験対策講座を県内大学生・一般に向けて実施した。・留学生の受入体制について留学生サポート教員を選任し、クラス担当とともに留学生のケアに努めている。		
<u>学校関係者 評価コメント</u> <ul style="list-style-type: none">・社会貢献・地域貢献は引き続き取り組んでほしい。		
学校関係者評価 平均		4.0

以上